

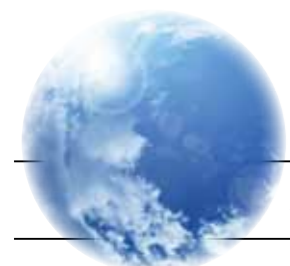
TORAY

Innovation by Chemistry

東レは透析をトータルコーディネートします

人工透析管理システム

Miracle DIMCS UX

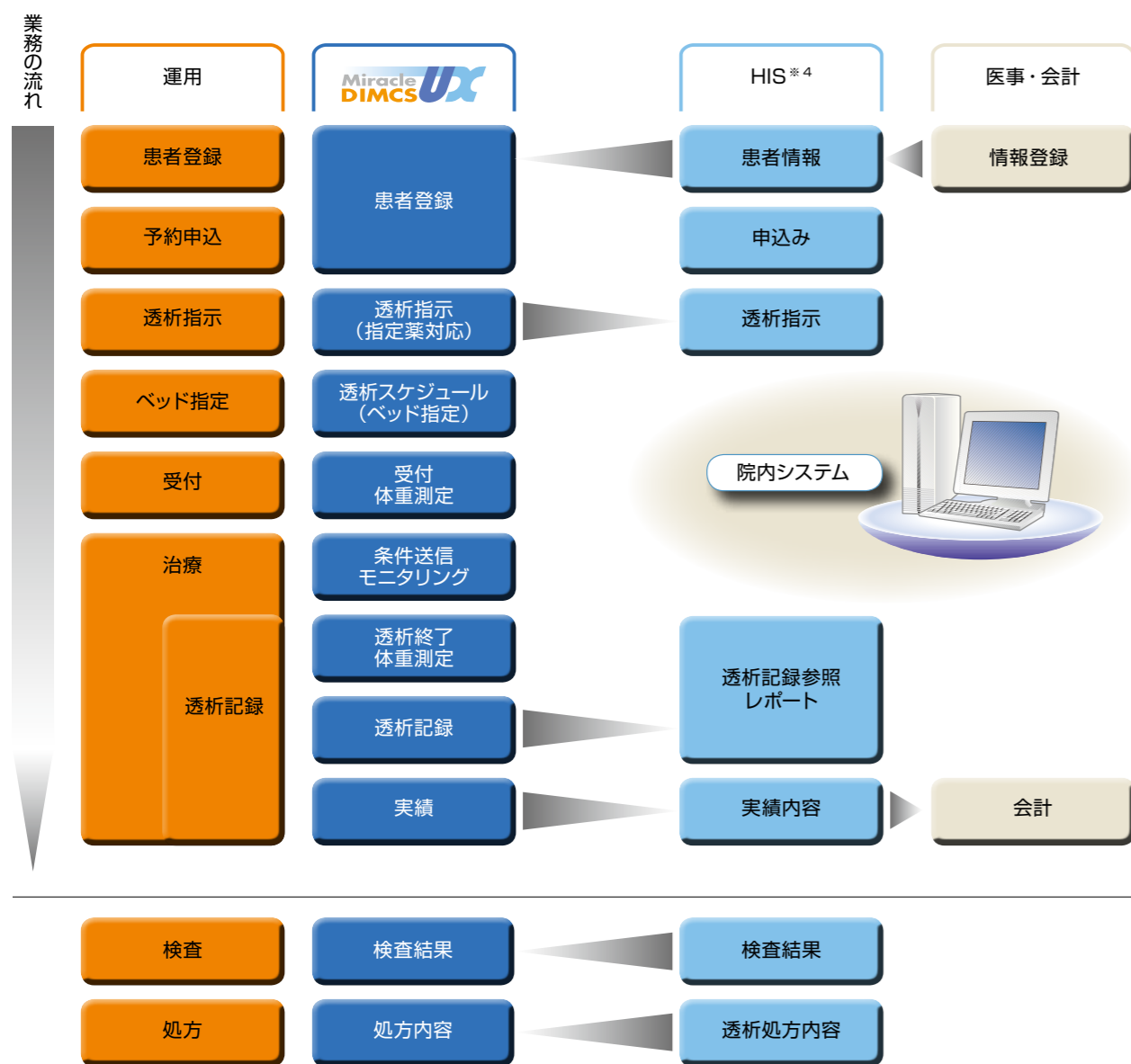


オープンシステム 院内システム連携^{※6}

透析業務において、電子カルテ、オーダーリングシステム、レセプトコンピュータ等の院内ネットワークシステムと連携を行い効率化を推進します。

患者情報、透析指示、透析実績、透析記録表等の連携をおこなえます。

より効率的な業務体系を構築することができます。



【主な連携内容】
患者情報受信、処方指示受信、透析オーダー受信、透析オーダー送信、検査結果受信、透析実績送信、透析レポート送信、診療報酬送信

機能一覧

《基本機能》

患者情報	患者情報管理 心胸比登録 患者別スケジュール
透析指示	透析指示 指示変更内容一覧 処置一括指示 処置薬剤一括指示 患者別警報・血圧計設定 指示受け
透析記録	透析記録 処置記録一括入力 体重一覧 透析記録検索 看護記録 コメント一覧
透析準備・スケジュール	透析スケジュールマスタ 透析スケジュール調整
施設設定	基本警報・血圧計設定 アナウンス登録 施設スケジュール

《オプション機能》

紹介状	情報提供用紙作成
検査管理	患者別検査指示 臨時検査一括指示 検査指示テンプレート 検査結果 検体ラベル・依頼表印刷 検査結果ファイル読込
処方管理	処方指示 処方箋発行一覧
診療報酬・集計	診療報酬 在庫一覧 ダイアライザー使用状況 使用薬剤集計
透析日報・月報	業務日報・月報作成
臨床支援	各種グラフ データ出力
装置メンテナンス	自己診断結果 透析装置内部設定 部品寿命記録 RO装置管理 透析液供給装置管理
体重表示	音声アナウンス
病院間データ連携	登録データ移行 (UXに限る)
WEBクライアント	透析指示 透析記録
静脈パターン患者認証	静脈認証 (手のひら)
バーコード薬剤確認	ハンディターミナル薬剤チェック
文書管理	ファイル取込 (PDF など) テンプレート作成
その他血液浄化	記録作成 (血漿交換など)
電子カルテ連携	各種電子カルテ連携

※1 連携している装置の機種によっては対応できない場合があります
 ※2 オプション機能
 ※3 SOAP: Subjective data, Objective data, Assessment, Plan
 ※4 HIS: 病院情報システム (Hospital Information System)
 ※5 保守契約の締結が必要です。
 ※6 院内システムにより連携方式、連携内容が異なります。詳細は弊社担当者にお問い合わせください。

推奨動作環境

	サーバ	デスクトップクライアント	ノートクライアント	タブレット
動作OS	Windows Server 2012 R2	Windows 10 Pro (SP1以降)	Windows 10 Pro (SP1以降)	Windows 8.1
CPU	Xeon 3.5GHz以上	Core i5 3.4GHz以上	Core i5 2.6GHz以上	Atom™ 1.3GHz以上
メモリ	8Gbytes以上	8Gbytes以上	8Gbytes以上	2Gbytes以上
HDD	300Gbytes以上	50Gbytes以上	50Gbytes以上	50Gbytes以上
ディスプレイ	1280 x 1024	1680 x 1050以上	1600 x 900以上	800 x 1280以上
DB	Oracle 11g Release2 Standard Edition	—	—	—

※ Miracle DIMCS および Miracle DIMCS UX は東レ・メディカル株式会社の登録商標です。
 ※ Windows はマイクロソフト社の登録商標です。
 ※ Xeon, Core, Atom はインテル・コーポレーションの登録商標です。
 ※ Oracle はオラクル社の登録商標です。
 ※ 製品の仕様・構成については予告なしに変更することがあります。
 ※ このカタログの写真等は印刷物のため実際の色と異なる場合があります。

製造・販売元 **TORAY** 東レ・メディカル株式会社 <http://www.toray-medical.com/>

本社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目4番1号 日本橋本町東急ビル
 東京支店 〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目5番12号 龍角散ビル TEL. (03)5835-2751
 大阪支店 〒541-0059 大阪府大阪市中央区博労町四丁目2番15号 ヨドコウ第2ビル TEL. (06)6253-7001
 東北支店 〒981-3121 宮城県仙台市泉区上谷刈一丁目5番3号 TEL. (022)772-5772
 名古屋支店 〒481-0031 愛知県北名古屋市弥勒寺東四丁目173番 TEL. (0568)21-5200
 中国国支店 〒730-0021 広島県広島市中区胡町4番21号 朝日生命広島胡町ビル TEL. (082)544-2731
 九州支店 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東三丁目13番21号 エフビル TEL. (092)477-3011

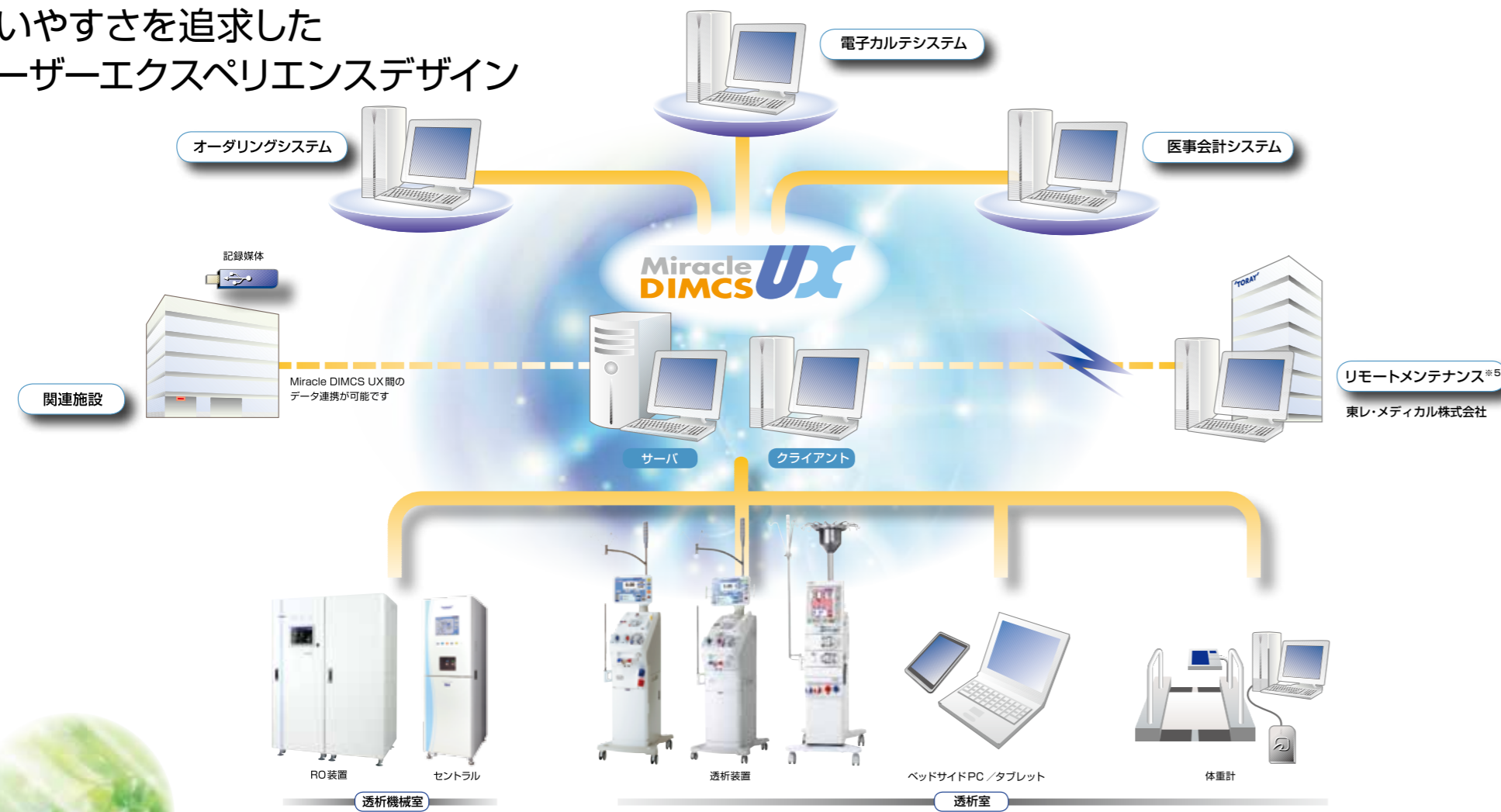


本カタログの印刷には「東レ水なし平版」を使用しています。

Miracle DIMCS UX

Dialysis Intelligent Multi-Communication System

使いやすさを追求した ユーザーエクスペリエンスデザイン



操作性

ユーザビリティを追求し、やさしい操作を実現しました。

- 表示メニューのカスタマイズ
ログイン者にあわせた表示メニューを設定でき、業務内容に適したメニューを作成できます。
- 直感的に判別できる表示
透析ベッドの監視を行うモニタリングソフトでは、透析室のベッド配置をそのまま表示することができます。透析指示では、入力や参照にカレンダーやバー表示を使用しており、変更日や期間をより明確に認識できます。
- 任意の書式に合わせた帳票機能
豊富な帳票サンプルの中から任意にお選び頂けます。書式のカスタマイズにも対応できます。

透析装置およびタブレットとの連携により
効率化を推進します。

- 多様なデータを自動受信*¹
患者個別の情報、透析条件、準備機材、処置薬剤等をスケジュールリングされた透析装置に送信します。透析装置での治療条件の変更、警報の記録、装置での測定データ等を透析記録に反映します。
- 透析装置を入力端末として使用*¹
実施した処置をその場で透析装置から入力でき、透析記録としてデータ保存できます。
- タブレット通信機能*^{1, 2}
ベッドサイドで透析指示、透析記録の閲覧・入力、シャント画像を確認することができます。また、縦／横に向きを変えることで任意に表示形式を切り替えることができます。



診療サポート

透析業務の管理・効率化を強力にサポートします。

《管理機能》

- データ管理
患者の基本的な情報や透析における患者毎の警報範囲、検査データ等を管理します。また、透析装置との通信で、透析毎の血圧データや操作履歴を記録として保存します。
- データの統計解析支援*²
任意に選択した投薬データ、検査データ等が1つのグラフで表示できます。数値データ以外の原疾患や合併症等の情報を条件とし、組み合わせ検索がおこなえます。
- 各種印刷
透析実施日の必要準備器材や薬剤を表示、印刷できます。また、ラベル形式での印刷もおこなえます。

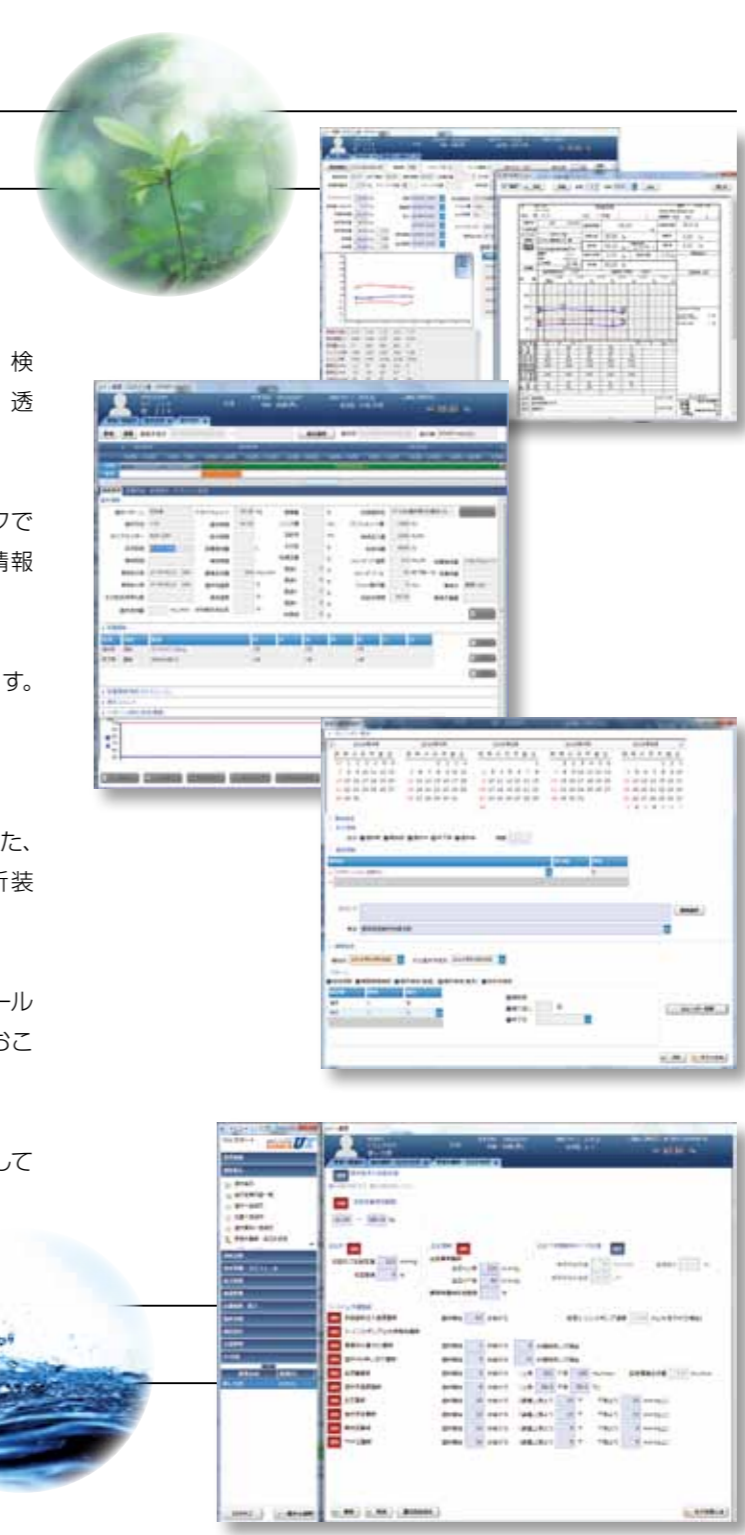
《サポート機能》

- パラメータの自動計算・選択
体重計との連動*²で除水量の計算をおこないます。また、除水完了時刻変更に対して、除水速度を再計算し、透析装置に自動で送信します。
- 透析スケジュール
事前に登録された情報に基づき、自動的に透析スケジュールを作成します。また、当日のスケジュール変更も簡単におこなえます。
- 看護記録
看護記録はSOAP*³方式で記載できるフォームを使用しており、患者ケアへ活用できます。

安全管理機能

チェック機能、認証デバイスなどにより、
ヒューマンエラーの低減に寄与します。

- 各種チェック機能
 - ・透析開始前に透析装置で患者条件を確認でき、ベッドへの案内間違えを防止します。
 - ・体重測定にはICカードや手のひら静脈認証*²を使用し、患者間違えを防止するとともに、画面表示や音声ガイダンスにより相互チェックできます。
 - ・透析中または終了時に未実施の処置項目等がある場合は、メッセージ表示、メロディ、表示灯でお知らせします。
- 警報値設定
患者毎の警報値設定で、より安全性の高い管理がおこなえます。



オープンシステム

多様なシステム連携をおこなう
ことで、透析関連業務の効率化を推進します。
関連施設間でのデータの活用がおこなえます。

- 連携対象*²
電子カルテ、オーダーリングシステム、レセプトコンピュータ等の院内ネットワークシステムおよび市販のソフトウェアと連携できます。
- 検査結果*²
検査結果をシステムに取り込むことで、患者管理に活用できます。
- データ通信
(一社)日本透析医学会の通信共通プロトコルに対応しています。

情報の共有化

複数のPC端末から操作・
参照がおこなえ、情報の共有化・業務の効率化を
実現できます。

- WEB機能*²
電子カルテ端末、院内で使用しているパソコンなどから透析指示や透析記録の操作をおこなえます。
- グループ病院連携*²
グループ病院など関連施設間において、同一データベースでの一元管理がおこなえます。

